

きらめき NEWS

VOL. 11 (2024. 12)



ヤースケライネンさん
(駐日フィンランド大使)

【講演】
○フィンランドはなぜ世界一幸福な国か
フィンランド社会では、人々を幸せにする様々な基盤が整えられています。例えば、公共サービス等のIT化が進んで

9月7日にNPO法人やまぐち男女共同参画会議(山口市)の主権により、駐日フィンランド大使のタンヤ・カトリーナ・ヤースケライネンさんを講師とした講演会とトーク&トークが山口市で開催されました。当日は、国連の世界幸福度ランキングトップで男女平等の国として知られるフィンランドの政策や働き方、ライフスタイルなど、女性活躍を支える取組などについて講演され、218人の方が参加されました。

やまぐちの女性活躍新時代 世界の先進国フィンランドの挑戦から学ぶ

男女共同参画推進事業

○ジェンダー平等への強い取組とは
これまでフィンランドでは多くの変革がなされてきました。ジェンダー平等が進み、女性のほとんどがフルタイムで働くようになり、子育てをする親を支え

このように、様々な分野でのジェンダー平等への強い取組やそれに対する信頼により、世界で最も幸せな国になったのだと思います。

また、政治への信頼度が非常に高いことも特徴です。特に、政治の場においては、年齢や性別による格差がなく、多様な性が担保されているからこそ、政治をより身近に感じることができ、様々な立場の人たちの意見が反映されやすいことが幸福度の底上げにつながっていると思います。

いたり、男女共にキャリアを積みながら家庭を大切にしているワークライフバランスがしっかりと整っているため、自らのライフスタイルに合わせた働き方ができることが個々の幸福度に繋がっています。

また、政治への信頼度が非常に高いことも特徴です。特に、政治の場においては、年齢や性別による格差がなく、多様な性が担保されているからこそ、政治をより身近に感じることができ、様々な立場の人たちの意見が反映されやすいことが幸福度の底上げにつながっていると思います。

○これからの課題
ジェンダー平等が進んでいるフィンランドですが、まだまだ課題があります。例えば、職種による女性の就業率の低さや男女間の賃金格差などの問題はなかなか改善されません。

ジェンダー平等はフィンランド社会の基本的な価値観の中核にあり、社会全体に大きな利益をもたらします。

また、女性と男性は職場でも家庭でも平等という意識が特に根づいているため、父親の80%が有給育児休暇を取得しています。そして、先進国の中で唯一、父親が母親よりも学齢期の子どもと過ごす時間が多い国でもあります。

ジェンダー平等はフィンランド社会の基本的な価値観の中核にあり、社会全体に大きな利益をもたらします。



県民活動の啓発、活動団体同士の交流を目的とした「ぎららでキラリ! 県民つながるフェスタ TUNA FES 2024」を10月26日(土)・27日(日)に山口きらら博記念公園(山口市)で開催しました。

今年度は、新たに、今までに実施したことのない新たな県民活動に取り組もうとする団体等による「新企画提案コンテスト」を実施しました。

書類審査を通過した6団体は、会場内でのブース出展とステージでのプレゼンテーションで企画をPRし、最終審査として、一般来場者によって応援したい企画提案を選んで投票していただきました。

審査の結果、上位3企画を提案した団体に、やまぐち県民活動促進実行委員会 会長(当財団の西田副理事長)から表彰状と副賞が授与されました。

今回選ばれた上位3企画は、どれも新たな視点で地域や社会の課題に対応しているもので、来年9月までの間に実施予定です。

- ・第1位：認定NPO法人こどもステーション山口
「あそび・ぶ・べ・ぼ!! 6・11は国際遊びの日!!」
- ・第2位：山口県子ども食堂・こどもの居場所ネットワーク、ふしの岩戸太鼓保存会(2団体合同提案)
「子ども食堂で和太鼓ワークショップ! ~お腹も心も満たされる時間を共有しよう~」
- ・第3位：北九州多言語図書館
「カタログとウェブサイトを連動させた図書配送システムの構築」



財団イベントスケジュール

開催日	イベント名	主催者	会場
12/7(土)	ひとつの地球・みんなの未来~環境問題と様々な子育ての形~in 山ヒメ	山口ヒメ倶楽部	うべ湖水ホール
12/7(土)、1/25(土)、2/8(土)	きらめく団体交流会①、②、③	山口きらめき財団	柳井市、山口市、山陽小野田市
1/11(土)	ゴリラに学び地域のコミュニティ再構築を	NPO 法人周防大島ふるさとづくりのん太の会	周防大島町文化センター
3/15(土)	県民つながるカンファレンス	やまぐち県民活動促進実行委員会	パルトピア山口

(秋吉台国際芸術村)

開催日	イベント名	料金	時間
2/22(土)	秋吉台音楽コンクール山口県知事賞 受賞記念コンサート 十河七海	一般1,000円、学生500円 ※会場：シンフォニア岩国	14:00~
3/8(土)・9(日)	アートフェスティバル2025	無料	10:00~17:00

令和7年度きらめき活動助成金等のご案内

当財団では、助成金の募集を例年の日程で準備を進めています。募集に当たって説明会を開催しますので、お気軽にご参加ください。助成金の募集内容や説明会の日程等は正式に決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

○説明会の日程、場所(予定)

柳井市:12/7(土)、山陽小野田市:12/14(土)、下関市:1/18(土)、宇部市:1/22(土)、岩国市:1/26(土)、山陽小野田市:2/8(土)、萩市:2/16(土)、柳井市:2/22(土)

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0021
山口市桜島三丁目2番1号 山口県宮野庁舎2階
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096
メール info@y-kirameki.or.jp



財団理事長表彰「きらめき賞」

県民活動や男女共同参画、文化芸術の各分野において、他の模範となる優れた活動を行われた8団体に、村岡理事長から「きらめき賞」が授与されました。

表彰式は、「県民活動きらめき賞」、「文化芸術活動きらめき賞」は10月26日に開催された「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」内（山口きらら博記念公園）で、「男女共同参画きらめき賞」は10月24日に県庁で行われ、受賞された皆さんは大変励みになると喜ばれていました。



県民活動きらめき賞・文化芸術活動きらめき



男女共同参画きらめき

《県民活動きらめき賞》

団体名	代表者	所在地	活動内容
点訳すばるの会	新田 久子	和木町	金子みすゞ詩集等の点訳書物の作成・提供、研修会等による啓発活動、小学生への点訳指導
認知症予防ネット下関	波戸崎みゑ子	下関市	軽度認知症患者等を対象とした認知症予防サークルの開催、講演会・出前講座による認知症予防の啓発活動等
柳井桜土手を守る会	大野 重則	柳井市	柳井桜土手周辺の草刈り・除草等の環境美化活動、「柳井桜土手さくらまつり」、婚活活動の開催等
山口子どもの文化研究会	向谷 静波	周南市	山口県の偉人、伝説、昔話等を「オリジナル紙芝居」を通して伝承、出前授業の実施や紙芝居講習会の開催等
若潮の会	佐々木照彦	周南市	大津島地区の地域振興活動（海岸・海底清掃等）や地域行事への参加協力、島内外での大津島のPR活動

《男女共同参画きらめき賞》

特定非営利活動法人 山口市男女共同参画 ネットワーク	青木 美弥子	山口市	男女共同参画に関する啓発講座の開催や、調査研究、情報収集・提供、山口市男女共同参画センターとの連携協力等
----------------------------------	--------	-----	--

《文化芸術活動きらめき賞》

豊北吹奏楽団	佐々木 猛	下関市	定期演奏会の開催、地域イベントへの演奏参加、近隣中学校・高校吹奏楽部との合同練習・指導等
山口県ポールルーム ダンス連盟	小田 修治	周南市	「山口県ダンスフェスティバル」の開催、ポールルームダンス技術の維持・向上を図る研修会の開催等

◆ 企業ボランティア活動促進モデル事業所

企業の社会貢献活動を進めるため、社会貢献活動やボランティア活動を行う従業員への支援などを積極的に行う県内企業を、モデル事業所に指定しています。

今年度は新たに7事業所がモデル事業所に指定され、10月26日に開催された「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」内で指定書が贈呈されました。

《指定事業所》

(有)仁成堂、(株)藤川興業所、(株)フジ フジ長門店、明治安田生命保険相互会社 徳山支社防府営業所、明治安田生命保険相互会社 山口支社下関営業所、山口待機(株)、(株)やまのわ



また、女性に対するDV・性暴力もいまだ大きな問題として存在しています。さらにジェンダー平等を進めるためにも、これらの課題を克服する必要があります。

「トーク&トーク」

○クオーター制について

フィンランドでは、国会等に女性が自然に参加しているため、クオーター制（女性の割合が一定になるようにする制度）は取り入れていません。新しい法案を審議するなど女性の意見を聴くことが必要な場面では、クオーター制を導入しています。クオーター制は、それぞれの国や状況によって考えたらいいと思います。

○選択的夫婦別姓について

フィンランドでは、結婚する女性は姓を自由に選べ、45%の女性が男性姓を名乗っています。また、男性と女性の姓を両方名乗ることもできますし、両方の姓をくっつけて新しい姓を名乗ることもできます。子どもは親のどちらかの姓を選べます。

○女性議員や女性大臣が増えた理由は

女性議員の活動やエネルギーが次世代へのロールモデルとなっています。

また、議員の就労時間、長期休暇などの体制も重要だと思えます。政治家、国会議員、地方議会議員の家族を支えるシステムも構築されています。

○ジェンダーバイアス、アンコンシャスバイアスについて

フィンランドにもアンコンシャスバイアスがあります。解決するには教育です。親の世代等がアンコンシャスバイアスの事実をきちんと理解して、子どもに教育することが大切です。

○山口の女性に一言

フィンランドは、幸福度世界1位と言われていますが、全員が幸福と感じているわけではありません。仕事のキャリアや家庭とのバランスなど、国民が楽しく幸せに過ごせる社会を政策決定者が作ってくれているからです。このようなことは、どの国でもできます。日本でも、

女性が一緒になってお互いが共感をもてる法律や社会を作ってくださいたいと思いたいで、頑張ってください。



県民活動推進委員リレーコラム Vol.8

谷 佐恵子さん
(劇団キラリ☆朗読勉強会：下松市)

「言葉と向き合い伝える楽しさを共に」

劇団キラリ☆朗読勉強会は、2017年に朗読好きが集まって発足しました。発足時は団体名なく活動していましたが、2018年4月に『劇団キラリ☆朗読勉強会』と名称が決まり、本格的に活動が始まりました。



団体名の中に「勉強会」を入れたのには理由があります。名称もなく活動していたころ、下松市で「演劇大学 in くだまつ」という催しがあり、そこで朗読の楽しさ・難しさを教わりました。読み方で聞く人の心に大きな波を起こすことができる朗読にすっかり魅了され、どこまでも読み方を追求する学びの形を大切にしようと『勉強会』という名称になりました。

会員は、年齢・性別を問わず、学ぶ姿勢をモットーとしており、状況に関係なく言葉に真摯に向き合っています。

会の良いところは、お互いに注意し合えるところで、これは私たちの特徴です。

日頃は、保育園や高齢者施設、県や地域のイベントなどで朗読の発表をしており、聞いてくださる方々の笑顔が私たちのエネルギーとなっています。

ステージでの発表時に、私たちと客席が一つになった時は、伝える楽しさを共に出来た喜びに包まれます。皆さんも一緒に楽しんでみませんか？

